

「マイナビ Ene-1 GP MOTEGI 2014」が 栃木県・ツインリンクもてぎで開催されました

11月29日(土)、“環境配慮型次世代エネルギーカーイベント”「マイナビEne-1 GP MOTEGI 2014」がツインリンクもてぎ(栃木県芳賀郡茂木町)を舞台に開催されました。

この競技は、鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)とツインリンクもてぎを運営する株式会社モビリティランドが提唱・主催するもので、充電式単三電池(Panasonic製EVOLTA)を動力源とした車両でさまざまな形態の競技を実施し、その総合力を競い、エネルギーやものづくりの可能性を追求しています。しかもステージは国際レーシングコースとあって、大きな人気と注目を集めています。



主 催：株式会社モビリティランド
 タイトルスポンサー：株式会社マイナビ
 後 援：栃木県/茨城県/茂木町/
 栃木県教育委員会/茨城県教育委員会

オフィシャルパートナー：パナソニック株式会社/株式会社ミツバ
 天 候・動 員：雨 12.8℃ 1,357人

鈴鹿では2011年から、もてぎでは2012年から始まったこの競技で使用される車両名は「KV-40」。車両重量の違いで「KV-1」「KV-2」の2クラスに細分化されており、その手軽さゆえに社会人から中学生チームまでがオリジナリティあふれるマシンを製作し、晴れ舞台に挑んでいます。

〈クラス分け〉

KV-1クラス	KV-2クラス
車両重量、ドライバー重量 制限なし/55kg以上(装備品含む)	車両重量、ドライバー重量 35kg以上/55kg以上(装備品含む)
a 一般部門 b 大学・高専・専門学校部門 c 高校生部門	a 一般部門 b 大学・高専・専門学校部門 c 高校生部門 d 中学校部門

〈車体サイズ(各クラス共通)〉

全 高	1.8m以下
全 長	3.5m以下
全 幅	1.7m以下
ト レ ッ ド	0.38m以上
ホイールベース	1m以上



戦いの舞台は楕円形コース「スーパースピードウェイ」

【競技方法】

競技は、国際規格のオーバルコース「スーパースピードウェイ」を舞台に、一周当たりのタイムを競う「ONE LAP タイムアタック」と耐久力が試される「e-kiden 90分ロングディスタンス」の二種類のポイント合算での戦いです。特に後者は昨年の60分から大幅に競技時間が延長され、より耐久力が問われる形となりました。ポイントシステムは右記のとおりとなっています。

〈昨年の各競技1位〉

ONE LAP タイムアタック

KV-1クラス Team BIZON 3分01秒548
 KV-2クラス 飯田OIDE長姫高校 原動機部 3分33秒691

e-kiden 60分ロングディスタンス

KV-1クラス Team BIZON 22周
 KV-2クラス 飯田OIDE長姫高校 原動機部 19周

■ ポイントシステム

	ONE LAP タイムアタック	e-kiden 60分ロングディスタンス
1位	20	30
2位	19	25
3位	18	20
4位	17	18
5位	16	16
6位	15 (以下1ポイントずつ減)	15
・	・	・
・	・	・
20位	1	1

今大会は、昨年(KV-1クラス16台、KV-2クラス6台、計22台)を大きく上回るKV-1クラス27台、KV-2クラス11台の計38台がエントリー。ツインリンクもてぎで“静かな戦い”をくりひろげました。

[KV-40チャレンジ KV-1クラス 一般部門] 11台

No.	エントリーチーム名	マネージャー	ドライバー①	ドライバー②	ドライバー③	メカニック①	メカニック②	メカニック③
1	Team BIZON	田村 俊介	小堀 義明			柳原 健也		
2	東郷アヒルエコパレーシング	仲岡 孝晃	坂田 隼志			石田 守良	山田 健太	
3	ZDP	辻岡 毅	初井 基之			佐川 耕平		
4	MCJ69	小林 幸次郎	山崎 翼			永井 伸幸	早田 聖基	石井 未来
5	あぶらっ子	斎藤 秀雄	板花 育男			佐藤 智昭	夢田 慎二	
6	Team ENDLESS	伊藤 宏	中条 真			小林 尚貴	大坪 浩也	飯田 有吾
7	夢の車工房	永吉 謙一	袴田 真	廣野 智久	塚本 英晴	河野 研太	谷田 浩祐	小林 健太
8	PROJECTMONO◇TTDC	新井 英行	中島 亨			山本 晴彦	平良 茂洋	
9	三ツ輪虫製作所	川原 朋子	川原 禎弘			川原 朋子		
10	チーム“ヨイシヨット”ミツバ	高橋 道夫	佐々木 善人			北澤 純也	蛭間 洋明	
11	中村ファミリー	中村 忠能	中村 梓友子			中村 逸子		

[KV-40チャレンジ KV-1クラス 大学、高専、専門学校部門] 7台

No.	エントリーチーム名	マネージャー	ドライバー①	ドライバー②	ドライバー③	メカニック①	メカニック②	メカニック③
12	大阪産業大学チームα	有本 茂樹	浜口 貴守	川田 敦志		松岡 裕介	松田 京弥	大宅 克典
13	豊田工業大学 とよこうWorks	浦田 将志	長田 真尚	西山 洋平		松浦 雄一郎	後藤 啓稀	藤松 泰久
14	長野県工科短大Z	早川 権	沖浦 遼			西村 祐紀	竹内 淳	小林 傑
15	HIT-EV	藤井 涼輔	松浦 拓哉	森 弘樹		福井 翔也	江 立博	松井 貴郁
16	AITチャレンジプロジェクト	遠藤 大介	大脇 大輝			濱仲 真和	川合 瑞稀	長谷川 知帆
17	新潟工大平工業高等学校	柴野 康介	竹内 勇人			真保 麻人	齊藤 稜	
18	日産栃木自動車大学校	佐藤 裕之	黒田 理紗			月井 敦大	今林 由人	瓦井 知宏

[KV-40チャレンジ KV-1クラス 高等学校部門] 9台

No.	エントリーチーム名	マネージャー	ドライバー①	ドライバー②	ドライバー③	メカニック①	メカニック②	メカニック③
19	今市工業高等学校科学研究部A	井澤 宣夫	深谷 理人			山越 優太	宮原 和広	沼尾 実織
20	今市工業高等学校科学研究部B	井澤 宣夫	星 貴伸			金子 亮太	小池 弘之	大橋 文芸
21	福島県立平工業高等学校	五十嵐 勝己	山崎 友博	渡邊 良太	大郷 智哉	TBN		
22	飯田OIDE長姫高校原動機部	福澤 智之	中山 天斗			平野 直也	熊谷 駿哉	片桐 匡貴
23	飯田OIDE長姫高校原動機部	福澤 智之	宮内 秀喜			浦野 拓実	宮下 凜平	江口 魁
24	埼玉県立新座総合技術高校電子機械	山崎 泰志	田中 勝也	宮島 俊雅	松谷 直樹	鈴木 健太	杉田 晃一	竹嶋 大貴
25	宇都宮工業高校 科学技術研究部A	市村 隆幸	沼子 知樹	山崎 慶太		小口 隼人	入江 祐輝	石田 達也
26	宇都宮工業高校 科学技術研究部B	安野 兼吉	斎藤 優太	平野 敏秀		山根 一樹	塚田 一史	古川 達也
27	長野県中野立志館高等学校	宮原 覚	高橋 昂汰	小林 大真		藤澤 太佑	鈴木 達也	

[KV-40チャレンジ KV-2クラス 一般部門] 1台

No.	エントリーチーム名	マネージャー	ドライバー①	ドライバー②	ドライバー③	メカニック①	メカニック②	メカニック③
51	Team Prominence	宮村 智也	二木 梢			TBN		

[KV-40チャレンジ KV-2クラス 大学、高専、専門学校部門] 4台

No.	エントリーチーム名	マネージャー	ドライバー①	ドライバー②	ドライバー③	メカニック①	メカニック②	メカニック③
52	大阪産業大学 チームβ	川北 泰三	林 洋光			杉本 将一	村山 弘樹	鳥居 慎也
53	長野県工科短期大学校	千葉 隆史	大塚 優聖			腰山 将太	江川 湧	
54	長野高専SeleneEV	桐林 生武	橋場 美央			梶原 大地	丸山 巧	
55	長野高専 HELIOS	眞鍋 陽平	上野 晃嗣			酒井 諒典		

[KV-40チャレンジ KV-2クラス 高等学校部門] 3台

No.	エントリーチーム名	マネージャー	ドライバー①	ドライバー②	ドライバー③	メカニック①	メカニック②	メカニック③
56	茨城県立総和工業高等学校	栃木 浩二	鈴木 啓太			細谷 洋輔	松井 崇恭	上原 太希
57	土浦日大中等 科学サークル	設楽 信二	宮本 証司	野村 悠登	小熊 雄太	田澤 勝英	海老原 豪人	五木田 一愛
58	飯田OIDE長姫高校原動機部	福澤 智之	田中 寛人			熊谷 和也	鈴木 翔吾	小杉山 航希

[KV-40チャレンジ KV-2クラス 中学校部門] 3台

No.	エントリーチーム名	マネージャー	ドライバー①	ドライバー②	ドライバー③	メカニック①	メカニック②	メカニック③
59	信州大学附属長野中技術研究班A	箕田 大輔	数土 拓	大日方 将人	土屋 佑太	原山 光聖		
60	信州大学附属長野中技術研究班B	箕田 大輔	松崎 和馬	宮澤 蒼人	高野 礼	佐々木 和憲		
61	工学院大学附属中学校自動車部	島田 浩行	山本 衛門	有川 裕人		佐々木 廉	瀬戸 駿	

イベントレポート

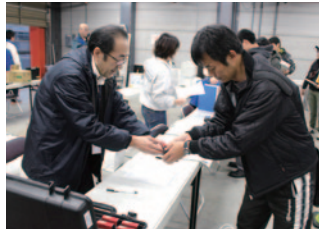
【コース下見】

大会の朝にコースが開放され、参加者の皆さんに競技会場となるスーパースピードウェイを徒歩で下見いただきました。路面の状況やコースの傾斜(イメージよりはるかに急な傾斜角がついています)を実感することで、攻略方法や作戦立案に大きな効果をもたらします。コースの下見はバスでも行われました。国際レーシングコースを体感・遊覧できるとあって、アトラクション(?)としても人気の高いイベントです。



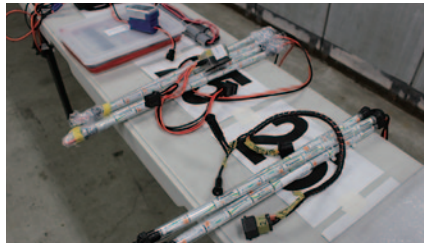
【参加受付・公式車検】

ピットでは、参加にあたっての書類確認が行われ、トランスポンダー(自動計測装置)などが配布されました。また、ほぼ同時進行で行われた公式車検では、ブレーキ性能や視界など車両の安全チェックやドライバーの体重測定、装備品の確認などを実施、ルールにのっとり安全かつ公平に競技が行われるよう着々とスケジュールが進行していきます。



【電池保管】

車検から競技開始まで、そして競技のインターバルには駆動用単三電池がオフィシャル(競技役員)の管理下で保管されます。なお、参加チームにはパナソニック株式会社様より「Panasonic EVOLTA BK-3MLE」40本と充電器2本が無償提供されています。



【開会式・ブリーフィング】

競技開始前に行われた開会式ではツインリンクもてぎ青木隆夫支配人の挨拶があり、それに続くブリーフィングでは、安全に競技が進行できるようオフィシャル各セクションの責任者が競技にあたっての注意事項などを説明しました。



【ONE LAP タイムアタック】

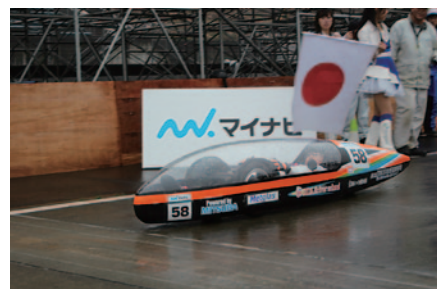
朝から降り出した雨により、開催3年目にして初めてのウェットコンディションで大会当日を迎えました。午前中に行われた競技は、1台ずつ出走しての「ONE LAPタイムアタック」。KV-1クラスで最速タイムをたたき出したのが、Team ENDLESS。昨年Team BIZONが出したタイム(3分01秒548)を上回る3分01秒233のコースレコードを記録し、さらに2位の飯田OIDE長姫高等学校原動機部に6秒以上の差をつけて堂々の1位。3位には、昨年に次ぐ2連覇を狙うTeam BIZONが食い込みました。KV-2クラスは飯田OIDE長姫高校原動機部が同クラス唯一の3分台を記録、2連覇に王手をかけました。



ツインリンクもてぎエンジェルの振り下ろす日章旗を合図に1台ずつスタート。



KV-1クラスストップのTeam ENDLESS。



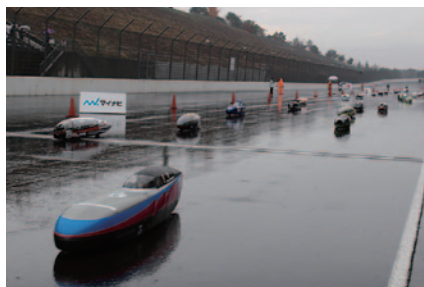
KV-2クラスストップの飯田OIDE長姫高校原動機部。

【e-kiden 90分ロングディスタンス】

午後に行われたのは、全車が一齐にスタートするレース形式の「e-kiden 90分ロングディスタンス」。「ONE LAPタイムアタック」の順位がスターティンググリッドとなります。ピットインやドライバー交代の義務付けはなし。昨年までの60分から大幅に時間が拡大され、各チームのエネルギー管理の采配が注目されました。雨はスタート後30分ほどで止んだもののウェット路面での戦いは、なかなかペースが上がらない展開となりました。KV-1クラスは、土壇場で大逆転を果たしたTeam BIZONが23周回を記録して優勝。総合2連覇を果たしました。2位には同周回でチーム「ヨイショット」ミツバ、3位にはTeam ENDLESSと強豪チームが名を連ねました。KV-2クラスは、21周をクリアした飯田OIDE高校原動機部が総合でも4位に入る快走で圧勝。こちらも2連覇の栄光に輝きました。



スターティンググリッド。各チーム雨対策に苦労したようです。



スタートシーン。雨は競技開始後30分ほどでやみました。



ピット作業。車両内にたまった雨水を処理。

【アトラクション】

市販自転車のフレームにKV-40同様40本の乾電池とモーターを搭載した2輪競技「KV-BIKE」。鈴鹿サーキットでは今年から開催されていますが、2015年からのツインリンクもてぎでの開催に先駆けて展示が行われるとともに、お昼のインターバルにはデモンストレーション走行が、注目を集めていました。

製作：栃木県立宇都宮工業高等学校 課題研究班



【表彰式】

競技終了後、集計などの時間を経て競技結果が発表され、表彰式が行われました。競技中の真剣な表情とうって変わって、なごやかなムードの中、喜びと安どの笑顔に満ちたひとときとなりました。

来年もツインリンクもてぎでお会いしましょう！

各クラス総合優勝チームのコメント

KV-1クラス Team BIZON

「『e-kiden 90分ロングディスタンス』では思ったよりパワーが残っており、最後の逆転につなげることができた。これで2連覇。とてもうれしい。来年も3連覇めざしてがんばります」

KV-2クラス 飯田OIDE長姫高校 原動機部

「『e-kiden 90分ロングディスタンス』序盤は快調に飛ばし、途中でいったんゆるめて最後にフルパワーで走るというペース配分がうまくいった。来年も優勝を目指したいです」



KV-1クラス総合優勝のTeam BIZONの皆さん。



KV-2クラス総合優勝の飯田OIDE長姫高校 原動機部の皆さん。



プレゼンターをつとめた池本博則 株式会社マイナビ 就職情報事業本部 総合企画営業部 統括部長。

KV-40チャレンジ 全国大会

【KV-1】総合 正式結果表

a…一般部門 b…大学・高専・専門学校部門 c…高等学校部門 d…中学校部門

Pos.	No.	Gr.	Team	Total Point	ONE LAPタイムアタック			e-ekiden	
					順位	Time	Point	順位	Point
1	1	a	Team BIZON	48	3	3'17.006	18	1	30
2	10	a	チーム"3iヨット"ミツバ	42	4	3'31.400	17	2	25
3	6	a	Team ENDLESS	40	1	3'01.233	20	3	20
4	23	c	飯田OIDE長姫高校原動機部	35	2	3'07.357	19	5	16
5	9	a	三ツ輪虫製作所	28	7	3'52.452	14	7	14
6	3	a	ZDP	25	11	5'03.302	10	6	15
7	2	a	東郷元川カレシダ	24	15	5'30.134	8	4	18
8	19	c	今市工業高等学校科学研究部A	20	9	4'30.844	12	13	8
9	5	a	あぶらっ子	19	8	4'12.408	13	15	6
10	25	c	宇都宮工業高校 科学技術研究部A	19	6	3'40.932	15	17	4
11	16	b	AITチャレンジプロジェクト	18	16	5'33.207	5	8	13
12	12	b	大阪産業大学チームα	18	14	5'22.611	7	10	11
13	8	a	PROJECTMONO◇TTDC	18	12	5'13.537	9	12	9
14	22	c	飯田OIDE長姫高校原動機部	16	5	3'38.476	16	23	0
15	15	b	HIT-EV	12	24	8'16.784	0	9	12
16	20	c	今市工業高等学校科学研究部B	11	10	4'42.850	11	21	0
17	18	b	日産栃木自動車大学校	10	22	6'28.971	0	11	10
18	21	c	福島県立平工業高等学校	10	13	5'15.792	8	19	2
19	13	b	豊田工業大学 とよこうWorks	8	20	6'11.960	1	14	7
20	27	c	長野県中野立志館高等学校	8	18	6'04.470	3	16	5
21	26	c	宇都宮工業高校 科学技術研究部B	4	17	5'50.143	4	出走せず	-
22	7	a	夢の車工房	3	21	6'20.425	0	18	3
23	4	a	MCJ69	3	19	6'11.003	2	20	1
24	17	b	新潟工科大学自動車競技部	0	25	9'24.819	0	22	0
25	24	c	埼玉県立新座総合技術高校電子機械	0	26	10'10.891	0	24	0
26	11	a	中村ファミリー	0	23	8'14.005	0	出走せず	-
※	14	b	長野県工科短大Z	-	-	計測できず	-	-	-

【KV-2】総合 正式結果表

a…一般部門 b…大学・高専・専門学校部門 c…高等学校部門 d…中学校部門

Pos.	No.	Gr.	Team	Total Point	ONE LAPタイムアタック			e-ekiden	
					順位	Time	Point	順位	Point
1	58	c	飯田OIDE長姫高校原動機部	50	1	3'50.862	20	1	30
2	54	b	長野高専SeleneEV	43	3	4'54.640	18	2	25
3	52	b	大阪産業大学 チームβ	36	5	5'39.11	16	3	20
4	51	a	Team Prominence	32	4	4'58.823	17	6	15
5	55	b	長野高専 HELIOS	32	2	4'51.094	19	8	13
6	60	d	信州大学附属長野中技術研究班B	31	8	10'10.783	13	4	18
7	59	d	信州大学附属長野中技術研究班A	29	6	7'36.448	15	7	14
8	56	c	茨城県立総和工業高等学校28	28	9	13'39.536	12	5	16
9	53	b	長野県工科短期大学校26	26	7	7'48.407	14	9	12
※	61	d	工学院大学附属中学校自動車部	-	-	19'40.336	-	-	-
※	57	c	土浦日大中等 科学サークル	-	-	計測できず	-	-	-

